キャニュレイテッドスクリューの開発

取組企業	企業名　株式会社エムテック
	担当者　代表取締役　松木　徹
	TEL：029-272-4310
	企業HPアドレス：www.m-tech61.com

共同研究の相手	筑波大学医学医療系
	担当者　井汲　彰
	TEL：
	研究室HPアドレス：

＜背　景＞

国内の骨折に関するインプラント手術数は、高齢化の影響で増加傾向にある。特に高齢者は自然治癒力が低下しているため、スクリュー等を埋め込む手術が増えている。その一つであるキャニュレイドスクリューは国内でも生産されているが、大部分は輸入品となっている。主な理由は、参入障壁の高さや、国内製の認可への対応力などがある。

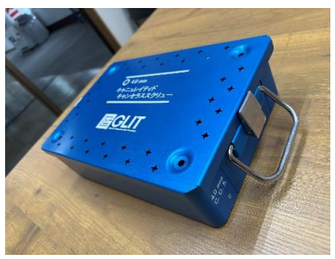
現在、円安の影響で輸入コストが増大している中、スクリュー等の医療器具も、医療機関に係るコストも増している。将来的にジェネリック化する当該製品においては、生産性の向上及びコストカットを進めることは業界として急務である。

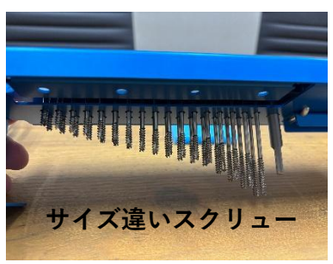
＜研究開発の目標＞

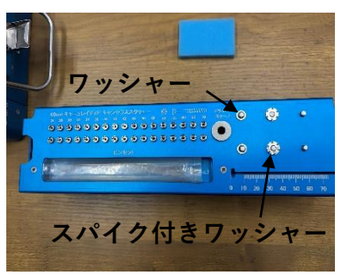
本事業では筑波大学整形外科と連携し、スクリューを含むインプラントの国内生産及び供給体制の構築を目指す。

＜研究開発プロセス＞

①スクリューホルダーの試作
②滅菌ケースの製作
③スクリュー及びワッシャー類の試作
④疲労試験







研究会テーマ名を記載。

＜共同研究機関との取組み＞

筑波大学医学部の井汲先生にご意見を頂きながら、スクリュー及び術具一式を試作完成することができた。
特に既存製品にはないスクリュー脱着式のホルダーは好評で、手術中で使い勝手向上にも役立つものと考えられる。

＜研究開発結果＞

試作品のスクリューの疲労試験まで実施することができ、申請に必要な準備を進めることができた。
次年度は最終試作を申請用の評価を行い、2026年度の認可を目標に準備を進めたい。